
ソファダイニングの売上げが昨年比約 12 倍に リビングダイニングの新たな主役インテリアとして人気を集める

家具通販専門店 カヴァースを展開するカヴァースジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：青木康裕）では、ソファダイニングに注文が殺到しており、販売台数が昨年比約 12 倍となっています。

食事スペースのほか、家族団らん、さらにはワークスペースとしての役割を担うダイニングテーブルが、アフターコロナの住まいでは主役インテリアになっていることが反映されている状況です。

【ソファダイニングに注文殺到する背景】

ソファとダイニングテーブルがセットになったソファダイニングは、住まいの限られたスペースを有効活用できるインテリアとして人気を集めてきました。

アフターコロナの今、これまでとは異なる理由でソファダイニングが注目されています。

国土交通省が発表している「令和 2 年度テレワーク人口実態調査」によると、テレワークを実施する自宅の環境として、回答者の約 37%がリビング又はダイニングを利用¹しています。対して、仕事用の個室を利用しているとの回答は 27.7%となっており、リビング又はダイニングが食事などの憩いのスペース兼ワークスペースとして活躍していることがわかります。

食事・団らん・仕事と多彩な役割を担うダイニングテーブルで過ごす時間が長時間化したことにより、ソファではなくダイニングテーブルを中心としたリビングダイニングづくりが増えています。

上記状況により、長時間過ごしても快適なソファダイニングに高い関心が集まっています。

【ソファダイニングに注文が殺到】

そんななか、カヴァースジャパン株式会社ではソファダイニングに注文が殺到しています。売上対比は前年比約 12 倍となっており、アフターコロナの新しい生活様式を見据えた消費者の購買意識が反映されています。

中でも、高さが調整可能・伸長式のダイニングテーブルなど機能性の高い商品や、どんなインテリアともなじみやすいデザインに人気を集まっているのが特徴的。

ダイニングテーブルが家と家族の中心となった生活が継続していることがうかがえます。

¹ 国土交通省、「令和 2 年度テレワーク人口実態調査」,国土交通省ホームページ,
<https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/content/001469009.pdf> (最終閲覧日 2022 年 7 月 11 日)